

東白川村 美しい村づくり 委員会

第94回

○場 所：神土交流サロン

○時 期：令和7年2月17日 19:00～21:00

○参加者：委員6名 行政3名 ゲストスピーカー1名 一般4名

【今年度の新しい取組み】

・ ・ ^{こよみ}暦くらす（東白川村の暮らしや文化の体験イベント） ・ ・

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけや場づくり、村の伝統や文化を後世に伝えることを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標とします。

第1 村長あいさつ

2月はとっても寒いですね。雪のちらつく中ご参加ありがとうございます。本日は、学び合い会のゲストスピーカーに白川町黒川でゆうきハートネット事務局もやってみえる、「和ごころ農園」の伊藤和徳さんをお招きしています。『お茶の可能性に魅せられて』というテーマですが、昨夜、ちょうど東白川製茶組合の総会があり、今年度どのくらいお茶がとれてというようなお話しがあったのですが、60トンくらいとって3000万くらいしか売り上げがないとのことでした。まだ3分の1程荒茶で残っており、お茶が売れない状況です。東白川も白川町もお茶の組合が減り、茶畑に花木を植えたり転換する動きも出てきています。今日は限られた時間ですが、伊藤さんのお話しを聞き、楽しく意見交換をしていきたいと思います。本日もよろしくお願いします。

第2 第10回学び合い会

「お茶の可能性に魅せられて—放棄茶畑と薪焙煎所」

ゲストスピーカー：伊藤和徳さん

『半農半X』という本に出会い移住を決意。白川町黒川地区へ移住し有機農業をはじめ、無肥料自然栽培や不耕起栽培に挑戦しつつ、地域の耕作放棄茶畑や間伐材を利用してサウナやお茶に取り組むなど、「好きな事×地域貢献×循環」という、自然を再生していく人の営みを実践しています。サスティナブル（持続可能）を超えて、リジェネラティブ（再生）へ。それらの取り組みと、そこから見える生活と社会の在り方について伺いました。

〈質疑応答〉

Q：作ってみえるお茶はどこで売ってますか？

A：ピアチェーレと可児の湯の華、あとはインターネットで売っています。

Q：うちもちっちゃいのですが田んぼを無肥料でやっています。畑もやりたくて土地を借りたのですが、緑肥をやりたくて育てていたら、「草を刈れ」と言われてしまいました。草と緑肥は区別が難しいので。

A：緑肥の種はバラムキですか？僕は播種機ですじまきにしています。そうすると畝になって作物らしくみえます。

Q：緑肥はどうやってまきますか？

A：細かく粉碎して枯らした状態で耕さずにやってもいいですし、ちょっと耕して土にすきこんでもいいです。

Q：三年番茶は、三年以上お茶の木を伸ばさなくてははいけませんか？

A：三年番茶には正式な定義はなくて、一年間しか伸びていないお茶の木を刈って三年置いておいて三年熟成した三年番茶もあります。今日飲んでいただいた番茶は、五年以上放置された茶畑の物です。

Q：三年茶畑を放置したら、花が咲いて実がつくと思うのですが、実もお茶になりますか？

A：実はお茶にしません。実は、実で化粧品になさる方もいますし、花は

きれいですから花木としてもいいですね。

Q：三年番茶の為には、お茶の木を刈りこまず、木のように伸ばした方が
いいんですよね？

A：はい。ですから茶畑を借りるときは、持ち主の方の所に「こういうお
茶を作りたくて、そのためには三年以上伸ばさなくてはいいお茶にな
りません。それでも良いでしょうか？」と説明し、納得していただけた
茶畑をお借りしています。

Q：伸ばしっぱなしで近所から何か言われませんか？

A：茶畑の周りにはちゃんと草刈りをして、草が生えにくいように三列ずつ
刈るなど工夫しています。

Q：以前、他のエリアで三年番茶を大掛かりに取り組んでいたのですが、
その時飲んだ三年番茶は、苦みや渋みがきつかった。でも、今日飲んだ
ものは本当に美味しかった。焙煎のやり方が違うのでしょうか？三年
番茶というのはどんな歴史があるのでしょうか？耕作放棄地の解決策
として新しく出てきたものなのでしょうか？

A：焙煎は奈良の茶農家さんに習っています。歴史はそこまで詳しくない
のですが、昔、お茶は薬として飲まれていて、山茶といって山に自生し
ていたお茶を切ってきて、それを火で焙りやかんに入れて飲んでいた
と聞いたことがあります。私はもともと梅^{うめ}醬^{しょう}番茶^{ばんちゃ}が好きだったんです
が、梅干しは自分たちで作っていて、醬油^{しょうゆ}も最近仲間で作っている。あ
とは番茶があればすべて自分たちで作れるなど。それに、白川町黒川が
気に入って移住して、土地に貢献できることは無いかという思いがあ
りました。お茶が耕作放棄されて困っているという話を聞いて、焙煎も
薪焙煎で間伐も使えて、ストーリーが繋がったという感じです。

ゲストスピーカーの伊藤さんと多くの対話ができ、楽しい「学び合い会」
となりました。

第3 閉会（21：00）

〈次回〉 3月19日（水） 19時から 神土交流サロン
「第5期美しい村づくり委員会の活動について」



以上